

福島県中期財政見通し【概要版】

- 策定の目的 持続可能な財政運営の重要性が増していることから、引き続き中期的な見通しに立った健全な財政運営を行っていくため策定
 - 対象期間 令和4年度から令和7年度の4年間
 - 試算の考え方
 - 《復興・創生分》 ・ 復興と地方創生を進めるための本県の所要額について試算
 - 《通常事業分》 ・ 令和3年度当初予算をベースに、骨太の方針や国の経済の中長期試算などを踏まえ試算
 - ・ 新型コロナウイルス対応経費については、見通しが困難なため、今回の試算には含めていない
- ※ 試算した数値は、前提となる経済情勢など他動的な側面が多く、年度により変動を伴うもの

1 歳入・歳出見通し

(単位：億円)

		R 3当初	R 4見込み	R 5見込み	R 6見込み	R 7見込み	
歳	復興・創生事業分 A	2,585	2,730	2,570	2,290	1,960	
	通常事業分 B	9,115	8,920	9,020	9,160	9,170	
	義務的経費	4,558	4,330	4,340	4,460	4,440	
	投資的経費	1,201	1,140	1,230	1,230	1,220	
	その他の経費	3,356	3,450	3,450	3,470	3,510	
	新型コロナウイルス対応分 C	901	4年度以降は今後の予算編成過程で検討する。				
歳出計 (A+B+C) D		12,601	11,650	11,590	11,450	11,130	
(歳出抑制 (K) 後の予算規模 (D+K))		12,585	11,640	11,580	11,440	11,120	
歳	復興・創生事業分 E	2,585	2,730	2,570	2,290	1,960	
	確保済み財源	2,585	1,300	1,040	850	760	
	今後確保が必要となる財源	0	1,430	1,530	1,440	1,200	
	通常事業分 F	8,774	8,560	8,610	8,760	8,790	
	一般財源	5,050	5,340	5,430	5,490	5,550	
	特定財源	3,724	3,220	3,180	3,270	3,240	
入	新型コロナウイルス対応分 G	893	4年度以降は今後の予算編成過程で検討する。				
	歳入計 (E+F+G) H	12,252	11,290	11,180	11,050	10,750	
収支差 (H-D) I		△ 349	△ 360	△ 410	△ 400	△ 380	

2 収支差への対応

(単位：億円)

	R 3当初	R 4見込み	R 5見込み	R 6見込み	R 7見込み
歳入確保 J	73	100	120	120	100
歳出抑制 K	△ 16	△ 10	△ 10	△ 10	△ 10
収支差への対応 (J-K) L	89	110	130	130	110

3 財源不足額

(単位：億円)

	R 3当初	R 4見込み	R 5見込み	R 6見込み	R 7見込み
財源不足額 (I+L) M	△ 260	△ 250	△ 280	△ 270	△ 270

(参考) 県債残高の見通し (一般会計と公債管理特別会計の合計額)

(単位：億円)

	R 3当初	R 4見込み	R 5見込み	R 6見込み	R 7見込み
県債残高の状況(年度末見込み)	16,131	16,460	16,850	17,170	17,380
(うち、臨時財政対策債分)	6,345	6,420	6,540	6,590	6,510
(うち、防災・減災事業への活用分)	867	1,190	1,510	1,830	2,130
(うち、その他の県債分)	8,919	8,850	8,800	8,750	8,740

※ 表示単位未満四捨五入により、計が一致しない場合がある。

■ 今後の取組

《復興・創生事業分》

- 復興を進めるための財源確保
- 新たな総合計画におけるプロジェクトの推進

《通常事業分》

- 歳入の確保と歳出の見直し
- 新型コロナウイルス対策
- 防災力の強化
- 公共施設等総合管理計画に基づく老朽化対策
- 県債の適切な活用と管理